

# 令和7年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和8年（2026年）3月30日  
山口県農林総合技術センター

## 1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

## 2 対象課題

令和7年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

## 3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和8年3月に意見を聴取した。

①学識経験者：国立大学法人 山口大学 農学部、共同獣医学部

②他の研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター、国立研究開発法人森林研究整備機構森林総合研究所 関西支所

③農業関係団体：山口県農業協同組合、(公社)山口県畜産振興協会、山口県森林組合連合会

④消費者団体：山口県地域消費者団体連絡協議会

## 4 結果

No.	課題名	総合評価※2	評価内訳※1 (人)		
			A	B	C
R07-01	施設園芸デジタル化による栽培支援システムの構築	一定の成果が得られた	1	3	0
R07-02 <sup>注)</sup>	果樹管理サポートシステム及びロボット技術による労働負担軽減技術の開発	一定の成果が得られた	0.5	2	0.5
R07-03	ドローンによる急傾斜小面積崩壊地における航空実播技術の開発実証	一定の成果が得られた	0	3	1
R07-04	病害を抑える山口県オリジナル林業用コンテナ苗培土の開発	一定の成果が得られた	0	3	1
R07-05	イチゴの長距離輸送を可能とする鮮度保持技術の確立	一定の成果が得られた	1	2	1
R07-06	AIを活用した「やまぐち和牛」超音波肉質診断システムの構築	十分な成果が得られた	3	1	0

注) 1名（果樹管理サポートシステム：c評価、ロボット技術：A評価）、1名：評価不能

### ※1 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。

C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

### ※2 総合評価

Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。

AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。

上記以外：成果が得られなかった。

### ※3 その他寄せられた主な意見等は別紙参照

(別添)

## 令和7年度研究成果に関する外部有識者への意見聴取 質問・意見等記入票

記入日：令和8年 3月 日

所 属： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

課題番号	
課題名	

1 以下の質問事項についてあてはまる評価の□にチェックを入れてください。

評 価 内 容	評 価		
	A	B	C
	可能性 は高い	普及支援 により活 用が可能	可能性 は低い
この研究成果は実用技術としての活用可能性は高いと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能

C：追試や確認試験が不可欠、現場で活用可能性が低い。

2 その他、この課題に対して御意見があれば記載してください。

--